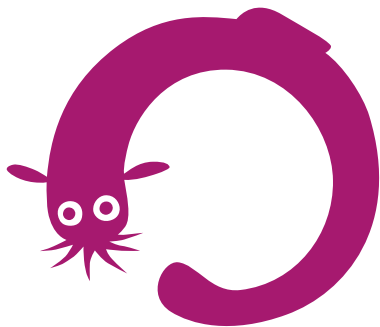


そうかわせみ、



そうかわせみ、

Vol.5



一色真理  
真理 2



伊藤浩子  
陽だまりの追慕 8



相沢正一郎  
ニンジン 10



岡島弘子  
肺のある風景 12

そうか! 14

真理

真理について  
私に聞きたいのですか？

そうですね。

答のない難問みたいなものかな。

問いかけてもひとかけらも返事は返ってこないから。

朝、幼稚園に連れて行くでしょ。すると

大理石の下駄箱に手を添えたまま

帰宅の時間まで一步も動こうとしないんです。

何度も私は問いかけました。

答が欲しかったから。

何故そうしているの？

あなたは誰なの？

私は何者？

でもね。

裏返しの便所のスリッパみたいに

沈黙が床に落ちていただけ。

そういうものなのかしら？

真理って……

ズボンの膝が破れた男の子がやってきて

唾にまみれた口で

真理にいきなり噛みついたことがあるわ。

血のにじむ歯形がぐんぐん頬に浮かび上がりました。

でも、それは答ではなかったの。

真理は悲鳴も泣き声も叫びもついに上げることはなかった。

「お母さん！」と呼んでくれることもなかった。

それが真理なのよ。

真理はいつも私の前にいました。

毎日、同じ時間、同じ姿勢、同じ顔をして。

誰もそこにはいないかのように。

私に見えていないかのように。

空気がみたくにいました。

ずっといました。

いつのまにか、私が存在を忘れてしまうほどに。

そして、気づいたときには

本当にいなくなっていたの。

真理なのよ。

それが。

\*

六十年が過ぎました。

早いものね。

あなた。

あなたは今日

杉の子幼稚園に行つたのですね。

真理のいた場所に。

大理石の下駄箱は

まだそこにあつたのですね。

あの日のままに。

よかつた。

歳月がすべてを灰にしたのではなかったのかわ。

けれど

あなたはまだ私に聞きたいのですか？

窯の中でごうごうと燃えている私に。

---

そうです。

私はそのとき

真理がわかりませんでした。

あれからずっと。

そして今も

見失ったままです。

わかるはずがないわ。

あなた。

あなたにもけつして！

そうよ。

それが真理なのだから。

陽だまりの追慕

窓辺の接点に突っ立って、あああ気持ちいい、唇は去年よりも更に白くなり、煙草をふかしているそれは、軒下で誰にも知られることなく腐敗する愛猫屍骸、がさつきも動くのを目撃していたの。産まれない子どもの名前をずっと考えている叔母との再会も果たし、描いては消し描けず、と言っては消し続けることにちの常同行為、同性愛的嗜好関係いわゆるハイパー・アクティヴ排泄消費社会は（ここに今日の、を圧縮しよう）後ろめたさが個人的な夢精に現れる。そんなところを拭くのじゃなくて。ちゃんと見ていてね、死者の爪が伸びる髪が伸びる背が縮むどこか近くで必ず繋がっているから、何も言わない男の横顔にロールシャッハ・テストをチャレンジする曖昧さを許すことはできないわ。見ていて、それから「火をつけて」、百科事典を破って呑み込んで覚えた記憶が無意味綴りとなって蘇るとき、

或いは花泥棒、もつと火をつけて一枚いちまい音も立てずにスローモーションで脱いでいくスリッパ・ドレスの肩先が細い。

TOKYO

からもらわれてきたいじめられっこの影におびえ

養父がかつてきた玩具を

ほこりまみれの屋根裏にならべた

みあげなくても

はりのかずとふとさは反比例し

服はよごれていないのに

いつだつてぬがさされているようだった

ふとももと

うらがわのカーヴに指という

口唇期の偽エクスタシー

きしむ音にさらに注意して

としをとることに移動することは同義

さあ窓辺へ

火をつけるところ

## ニンジン

ニンジンがねむってる、  
土のなかで。あかく甘くふとつて……。  
ハロウィーンのカボチャのちようちん。

ホウレンソウの缶詰のコマーシャルフィルムから生まれたポパイ。  
あとから出た葉がさいしよの葉をだきしめ、またそのあとの葉がつぎ  
の葉をだきしめ……と、つぎつぎに自分自身をだきしめ、ついにま  
んまるになつたキャベツ。

おじいさんがおばあさん、おばあさんが孫むすめ、孫むすめが犬、犬  
がねこ、ねこがねずみをひっぱつて、よつこらさと土からひっこぬ  
いたおおきな蕪。

……みんな夢なのかもしれないね、ニンジンが土のなかで見た。  
だいどころの野菜も、  
いまステイックニンジンをかじりながら詩を書いているわたしも。

〈ニンジンがねむってる、／土のなかで。あかく甘くふとつて〉の  
〈ニンジン〉を消して、〈にんじん〉と書く。……むかし読んだルナー  
ルの『にんじん』をおもいだす——赤ちゃけた髪の毛のソバカスだら  
けの、やせつぼちの男の子が、小屋の壁に背中をもたせかけ沈黙と夜  
のように暗い心持をかかえながら膝をだいていた……。

〈にんじん〉を消して、〈人参〉と書く。人参と書いてから、『西遊  
記』に出てくる「人参果」のお話をおもいだす——おおきな庭のまん  
なかのおおきな樹に実っていた赤ん坊のかたちの人参。尻のあいだに  
帯がついていて、枝からぶら下がり、手足をうごかし、あたまをふつ  
ている。風がふくと、声をたてる……。

〈人参〉を消して、ふたたび〈ニンジン〉にもどす。……コップの冷  
たい水に束ねたオレンジ色の野菜が消える——思い出みたいに甘い味  
をのこしたまま。

各駅停車が通過する

各駅停車が通過する

こほん こほん こほん こほん と

ふとんの底 部屋の 六畳間の いちにちの底からやってきて

各駅停車が通過する

盆地の底 扇状地の底 山梨県の底から

学生だった私が いくどでもはいあがつてきたように

各駅停車が通過する

列車は裸 木も地も空も裸

列島も裸 一月の裸の季節を通過する

こほん こほん こほん こほん と

各駅停車が通過する

咳きこむ肺の前には 登り坂

あえぐ肺をささえる脚はのびる

あえぐ肺をささえる肩幅はひろい

冬の背丈を越えて

脚はさらにのびる 肩幅はさらにひろがる

各駅停車が通過する

雨戸をゆらして風がすぎて

肺は自らの心をためすように おおきくひとつ息をしてみる

各駅停車がまたくる

どこから

地球の底の底から？

つぎの各駅停車がさらに通過する

どこへむかって 空の底の底にむかって？

でも

長い連結のさいごの車両がみえてくる



そうか！

かずおさんが、一月一日に亡くなった。かずおさんはぼくの詩集『純粹病』の編集者である。末期癌でホスピスに入っていると、ぼくに教えてくれたのはまさきさんだった。確か「まあ座りなさい」と言ってから、ぼくにその話をしてくれたのだと思う。年が明けて、かずおさんの訃報がツイッターで流れた。呟いてくれたのはやすみさんだ。いずれ正式な連絡があるだろう。そう思っているうち、九日になっていた。その日、横断歩道でかずおさんと一緒になった。「今夜がかずおさんのお通夜なのよ」。サッと力が抜けてしまった。でも、ぼくは白のスーツを着ていたから、黒い服のかずおさんについて行くわけにいかない。目の前に、空から一本の長い紐が垂れて、ぶらんぶらんと揺れている。「太陽は手の届かないところにあるからね。消すにはこの紐を引っ張ればいいのさ」。遠いところからかずおさんの声が聞こえた。(一色)

昨年の震災直後に私が受けた心境を代弁するかなのような詩に出会った。(産まれたばかりの赤ん坊が／中空に向かって両手をのぼしたりひっこめたり／見えないものを手繰り寄せるようにして／泣いているので／「なぜ、あんな恰好をして泣くのかしら」とつぶやくと／「手がつかないからですよ」とそばで年配の助産婦が応えてくれた／「ふかくて手がつかないから、怖いんですよ」——世界が深く、手が着かない)。これは宮尾節子さんの詩集『恋文病』に収められている「中空遊泳」の冒頭の二連である。震災や原子炉の爆発はうまれてはじめて体験したもので、深くて手が着かない壁をまさぐるような思いだった。南三陸へ行つたことを思い出す。野川朗読会の収益を義捐金として送つた南三陸防災対策本部は鉄骨だけが残っていた。何も無い。けれども始めなければならぬ、そう思つたのを。(岡島)

ほんの少しだけ眠りほんの少しだけ息をし、ほんの少しだけ恋をしていると、身体から／食べること／が削除されていく。豚バラ肉、牛肉、鶏はもともと好まないし、挽肉はますます細かく泥になつて食卓から崩れ落ちる。嘔吐、ブリミア。BACK SPACE-DELETEのふちらを使うか迷いつづけた二日から一三五日目の春のこと。母性棄却という高揚気分が更に高まり空よりもつと上のほうへ。ほんの少しだけ眠りほんの少しだけ息をし、恋するための、嘔吐、ブリミア、アノレクシア。魂だけは過剰に重くなつて夜の穴にまつかさまに落ちる、炭水化物、アミノ酸、糖類ビタミン類脂肪酸といっしょに。日常では、犬の子どもが四匹産まれた。その眼窩の一つひとつを、蓋をするように塗り潰した欲望は、もうどこにも戻れない。あなたに、わたしが誰か分かりますか？

(伊藤)

きゅうりを栽培するとき、まがらないようにコルセットをはめる。だいこんは水分が九十パーセント以上。たまねぎを刻むと涙がでるのは硫化アリルという成分のため。冬に葉をひろげ太陽をいっばいにあびたホウレンソウがいちばんおいしい。なすの漬物は、糠に錆びた鉄をいれると濃いむらさきの色つやを失わない。ピーマンは、からくないうがらし……。

ニンジン、アマガニスタン、ヒンドウキクシ、山脈がふるさと。ヨーロッパにオレンジ色、中国に赤い色のニンジンが伝わる。日本には、まず江戸時代の初期に赤いニンジン、後期にオレンジ色が——と、本のなかから収穫したニンジンの来歴も、野菜たちの知識も、だいどころで土を水で洗いおとした野菜たちと、どう結びつくのか。ごまマヨネーズをつけて、まるかじりにするのは、もちろんと土に根をはつていた野菜のほう。(相沢)

同人住所

---

相沢正一郎 / 〒189-0024 東京都東村山市富士見町3-17-24

一色真理 / 〒201-0002 東京都狛江市東野川3-17-2-302

伊藤浩子 / 〒403-0016 山梨県富士吉田市松山3-4-222-201 宮下方

岡島弘子 / 〒201-0002 東京都狛江市東野川3-17-2-302

---

そうかわせみ、Vol.5 2012年1月31日発行

頒価500円

---

編集：相沢正一郎

発行：そうかわせみ、の会 〒201-0002 東京都狛江市東野川3-17-2-302 一色方

印刷：遠藤印刷 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-6-9

表紙：相沢育男

---